レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成21年12月9日	使用開始日			
登録診療科	泌尿器科	申請医師		化学療法委員会承認年月	平成　　年　　月
レジメン名	GC(シスプラチン)(ホスアプレピタント)				
疾患名	尿路上皮がん	適応の備考			
適応分類	進行・再発、術後補助、術前				
1コース日数	21　日間	総コース数	有効な限り　コース	催吐性リスク	day1.8:軽度、day2:高度
抗がん剤投与量・投与日	ゲムシタビン1000mg/㎡　day1.8、シスプラチン70mg/㎡　day2				

治療スケジュール　・　投与日程（投与日は●）　(day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body		●							●													
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●							●													
			/																						
2	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●							●													
	点滴静注	ゲムシタビン注	1000 mg / ㎡	30 分	●							●													
			/																						
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●							●													
	点滴静注		/																						
			/																						
4	主ルート	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	4 時間		●																			
	点滴静注		/																						
			/																						
5	側管	生食250mL	1 本 / body			●																			
	点滴静注	ホスアプレピタント注150mg	1 本 / body	30 分		●																			
			/																						
	(シスプラチン注の1時間前投与)																								
6	側管	ﾊﾟﾛﾉｾﾄﾛﾝ注ﾊﾞｯｸﾞ0.75mg	1 本 / body			●																			
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分		●																			
		デキサート注1.65mg	2 本 / body			●																			
	(シスプラチン注の30分前投与)																								
7	主ルート	生食500mL	1 本 / body			●																			
	点滴静注	シスプラチン注	70 mg / ㎡	2 時間		●																			
			/																						
	シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する																								
8	主ルート	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	4 時間		●																			
	点滴静注		/																						
			/																						
9	主ルート	生食100mL	1 本 / body				●																		
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分			●																		
			/																						
10	主ルート	生食100mL	1 本 / body					●	●																
	点滴静注	デキサート注6.6mg	2 本 / body	30 分				●	●																
			/																						

【投与上の注意】
・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
・day4以降のデキサメタゾンは増量が必要(day2.3を減量しているため)。
・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
・ゲムシタビン:100mLで希釈し、30分で投与。
・シスプラチン:希釈は生食のみ。
・シスプラチン:腎毒性軽減のためhydrationが必要。
・シスプラチン:適宜、利尿剤を投与
2020年2月　:コース数　有効な限りへ改訂